



青南だより

令和4年 春休み号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<当たり前ではなく有り難いこと>

私たちがこの青南幼稚園で日々を過ごせることは決して当たり前のことではありません。私は修了式の式辞の中で、そのことに感謝し、その気持ちを周りの人たちに伝えることの大切さを伝えました。ウクライナで起こっている悲しい出来事や前夜の地震のことも話しました。お陰様で今年も小学校の体育館をお借りすることができ、どの子も立派に修了証書をもらい、お別れの言葉と歌で幼稚園の思い出と感謝の気持ちをしっかりと届けてくれました。

<新しい生活様式に慣れて>

コロナ禍での生活はすでに2年を過ぎようとしています。マスクの着用は、自分自身や周りの人を守るための必須アイテムになり、子どもたちもしっかりと着用できるようになっています。保護者会や懇談会も何度かオンラインで行いました。対面での実施が一番ですが、オンラインならではの利点も感じていますので、どちらもうまく使って新しい生活の仕方としていければと思います。システムは変わりますが、引き続きプリント類はデータ配信の予定ですので、よろしく願います。

<小さなことにも心を留めて>

子どもたちが人や物とどのように関わるのかは、日々の小さな営みの中で身に付いていくものです。習い事では得られない人として生きる「構え」を育てるのが幼稚園です。心の根っこは何気ない日々の積み重ねの中で少しずつ伸びて、この時期になって、こんなに成長していたのだと今年も実感しています。これも保護者や教職員、関係の皆さんのご理解とご協力のお陰です。改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。4月にまた元気にお会いしましょう！



かえで組から記念撮影、みんないい笑顔です



一瞬だけマスクを外して、さくら組も記念撮影



年長児がお別れの言葉と歌を年中児に披露



年長組最後の学年だよりを紹介した掲示版



修了式に届いたたくさんのお祝いメッセージ

…青南は みんなの 心のふるさと…

青南の 二十四節気

都会でありながら、青南幼稚園には豊かな自然がたくさんあります。青南はみんなの心のふるさとです。今年度も、この街や園内外の自然の移り変わりに心を寄せて、「青南の二十四節気」をお届けしてきました。

昨年度、七十二候に合わせて小さなコラム「みちくさ いたすら こどものじかん」を発行しました。今年度は、それをホームページに再掲しながら、今年の子どもたちや自然の様子と重ねて発信してきました。また、各担任からは「自然っておもしろい！子どもっておもしろい！」というコラムを発信してきました。合わせて青南幼稚園の魅力を多くの方々に知っていただくものになっていれば幸いです。

4月からは新しい仲間を迎えて、令和4年度が始まります。健康管理、感染予防を再度徹底して、毎朝元気に幼稚園に通って来てくれることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。